資料②

（3）平成28年度修繕実施状況

神奈川県の平成28年度修繕実施状況

資料②－１

＜各構造物の平成28年度の修繕進捗状況＞

道路施設	H28修繕 当初計画数 (A)	H28修繕 実施数 (B)	計画数と実施数 との差 (B-A)	修繕実施率 B/A
橋梁	23	16	-7	69.6%
トンネル	5	5	0	100%
道路附属物等	13	8	-5	61.5%

・H28修繕実施数（B）には、平成２８年度修繕完了見込みも含まれています。
・数値は各道路管理者の管理施設数ベース。

横浜国道事務所の修繕事例（橋）

資料②－２

■損傷概要

定期点検時において、床版にひびわれ、漏水・遊離石灰及び舗装にうき、ひびわれを確認

■南本宿高架ランプ橋の諸元

橋梁名	ﾐﾅﾐﾎﾝｼﾞｭｸ ｺｳｶ ﾗﾝﾌﾟｷｮｳ	橋長(m)	188.9
	南本宿高架ランプ橋	全幅員(m)	6.5
距離程	自： 2.6km ＋ 59	設計荷重	TL－20
	至： 2.8km ＋ 48	適用示方書	昭和39年
上部構造形式	2径間連続鋼非合成鈑桁橋、3径間連続鋼非合成鈑桁橋	径間数	5
		架設年	1973年
		塗装年	2004年

橋梁（全景）

■修繕工事の内容

舗装の変状は、床版の損傷位置と符合しており、床版の損傷が大きい箇所の打換えと橋面防水を実施

施工前

施工中

施工後

※ この補修事例はあくまでも参考事例であり、必ずしも記載されている補修工法がどの橋にもそのまま適用できるものではありません。

神奈川県の修繕事例（トンネル）

資料②－３

■損傷概要

平成26年度の点検結果において、広範囲に連続する覆工コンクリートのうき・はく離を確認

■走水第二隧道の諸元

ﾄﾝﾈﾙ延長	229.0m	覆工種別	モルタル吹付、切石積、素掘		
幅員	4.8m	有効幅員	3.6m	ｲﾝﾊﾞｰﾄ	無
竣工年	1882年（M15、経過年数135年）			ﾄﾝﾈﾙ等級	D等級
交通量	1,700台/日		大型車混入率	7.8%	
ﾄﾝﾈﾙ分類	陸上トンネル掘削工法				

隧道全景

■修繕工事の内容

うき・はく離が広範囲に連続しているため、はつり落とし工は行わず、内巻補強工としてライナープレート補強工を実施

施工前

施工中

施工後

※ この補修事例はあくまでも参考事例であり、必ずしも記載されている補修工法がどの隧道（トンネル）にもそのまま適用できるものではありません。

中井町の修繕事例（橋）

資料②－４

■損傷概要

平成26年度の点検結果において、かぶり不足によるコンクリートのうき・はく離・ひび割れを確認

■東向橋の諸元

橋長	75.20m	支間長	14.60+46.00+14.60		
幅員	4.7m	有効幅員	4.0m	塗装仕様	無
架設年	1968年（S43、経過年数48年）			適用示方書	S39
橋梁形式	PC中空π型ラーメン構造				

橋梁全景

■修繕工事の内容

うき・はく離が点在しており、左官工法にて断面補修と低圧注入工法によりひび割れを補修、他に剥落防止と防護柵の交換を実施

施工前

施工中

施工後

※この補修事例はあくまでも参考事例であり、必ずしも記載されている補修工法がどの橋にもそのまま適用できるものではありません。